

まちづくり提言の公表（令和5年4月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	御意見の内容（一部を要約しています。）	回答内容（一部を要約しています。）	担当課
妊産婦の市の診査票の文言について	<p>妊産婦検診の際、市からいただく健康診査票ですが、「育児に協力してくれる人や相談相手はいますか」の選択肢が、夫・実母・夫の母・姉妹・友人・その他となっています。実父や義理父、実の兄や弟も、一生懸命育児やサポートをしてくれているのですが、最初から選択肢から外されており、「母、姉妹」と限定されていることにジェンダー的に偏見を感じました。</p> <p>ジェンダーギャップをなくすためにも、性別関係なく子育てする街にするためにも修正が必要だと思います。妊産婦が全員この質問を見るのですから、書き方を見直すべきではないでしょうか。</p>	<p>乳幼児健康診査の問診項目については、山口県の乳幼児健康診査マニュアルに基づいて作成されているものですが、県に確認しつつ、令和7年度からの問診項目は見直しを検討いたします。</p>	あんしん子育て室
病院敷地内への路線バスの乗り入れについて	<p>徳山中央病院の敷地内に路線バスが乗り入れ、玄関前で乗降できるようにすれば、通院する高齢者が使用しやすくなるのではないのでしょうか。</p>	<p>該当の病院へのバスの乗り入れについては、これまでも御要望をいただいておりますが、現状では、周辺の道路や交差点の交通量が非常に多いことなどから、安全な運行が確保できず、乗り入れが難しい状況です。</p> <p>そのため、現在、病院が行われている新棟建設工事に合わせて、市も道路の拡幅等を実施し、渋滞の緩和を目指しています。また、それに合わせて、バスを運行している防長交通株式会社においても、一部の路線について、病院の敷地内への乗り入れを検討されている状況です。</p> <p>引き続き、運行事業者や警察等と協議し、利用者の方にとって使いやすいものとなるよう取り組んでまいります。</p>	公共交通対策課